

静岡県月例経済報告

(令和8年6月号)

……令和8年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 602

テクノロジーがつなぐ
食とウェルネスのその先へ



WELLNESS
F O O D S
静岡ウェルネス・フーズ
EXPO
2026



フードテック
ウェルネス
ウェルビーイング



機能性素材
地域・共創

— 静岡県経済産業部 —

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	7
・ 需要面	7
・ 生産面	15
・ 雇用面	17
・ その他	20
III 静岡県主要産業の動向	24
IV データからみた県内主要産業	27

利 用 に あ た っ て

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryo/getsureihokoku/index.html>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和8年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概 況

令和8年4月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待されるが、中東情勢の影響による燃料・石油関連製品の価格高騰や調達の不安定化など景気を下押しするリスクに留意が必要である。また、雇用・所得環境や金利・為替の動向等に十分注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる。

- ・ 個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。
- ・ 設備投資は、増加している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、横ばいとなっている。

（下線部は前月からの変更箇所）

需 要 面

「個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、緩やかに増加している。」

大型小売店販売額（4月）は、百貨店が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパーが2か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも2か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額（4月）は、家電大型専門店が4か月連続、ドラッグストアが8か月連続、ホームセンターが2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも4か月連続で前年実績を上回った。

自動車新規登録・販売台数（4月）は、軽自動車が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車が4か月ぶりに前年実績を上回ったため、総数でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

「住宅建設は、前年を上回った」

新設住宅着工戸数（4月）は、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家が4か月ぶり、貸家が2か月ぶりに前年実績を上回ったため、全体でも4か月ぶりに前年実績を上回った。

「設備投資は、増加している」

日銀短観（3月調査）の令和8年度の設備投資（含む土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（4月）は、2か月連続で前年実績を上回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(4月)は、4か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、持ち直している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額(4月)は、原動機が7か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも6か月連続で前年実績を下回ったものの、二輪自動車類が2か月ぶり、自動車4か月連続、自動車の部分品が9か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも7か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額(4月)は、木材が5か月ぶり、原動機が3か月ぶり、パルプが8か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品が2か月ぶり、魚介類及び同調製品が5か月連続、自動車の部分品が3か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,053億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、横ばいとなっている」

鉱工業生産指数(4月)は、輸送機械が5か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が4か月ぶり、食料品・たばこが3か月ぶり、化学が3か月連続で前年水準を上回ったため、総合でも3か月連続で前年水準を上回った。なお、前月比は3か月ぶりに増加した。

鉱工業在庫指数は、総合では8か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きに弱さがみられる」

有効求人倍率(4月)は1.06倍となり、前月を0.02ポイント下回った。63か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員(4月)は、11か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数(3月)は前年実績と同水準であった。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高(4月)は、前年同月比 2.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(4月)は、前年同月比 52.7%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数は前年を上回り、負債総額は前年を上回った」

企業倒産(4月)は、件数は19件(前年同月比 35.7%増)と前年実績を上回り、負債総額は3,871百万円(同 142.7%増)と前年実績を上回った。

静岡の現場力でAIは進化する。



TECH
BEAT Shizuoka

2026

7.23

10:00
17:00
木

24

10:00
17:00
金

25

10:00
17:00
土

@グランシップ

〒422-8019
静岡県静岡市駿河区東静岡2-3-1
(JR東静岡駅南口徒歩3分)



静岡がフィジカルAI時代の最前線になる。——
国内外の注目スタートアップによる先端デジタルテクノロジーと、
私たちが誇るべき“ものづくり”の伝統との出会い。
生まれる新たなムーブが、世界をリードするチカラとなる。
今年も豪華講師陣による多彩な講演・トークセッションを通期開催。
次世代に向けた体験型アトラクションにもワクワク。
この夏も、県下最大級のスーパーイベントがグランシップにやってくる！



静岡銀行

TECH BEAT Shizuoka 実行委員会 静岡県産業イノベーション推進課 054-221-2609(平日:9時~17時)

PHOTO:2025 純庵時

<トピックス>

テクノロジーがつなぐ 食とウェルネスのその先へ

静岡発のフードテック・ウェルネスビジネスの創出等を目的とし、
県内外の新進気鋭のスタートアップやソリューション企業等が集結した
展示会・出展者によるピッチ等を開催いたします。



WELLNESS F O O D S 静岡ウェルネス・フーズ EXPO 2026



2026
7.23(木) 24(金) 25(土)
10:00-17:00

会場 グランシップ 6F (静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ)
静岡市駿河区東静岡二丁目3番1号

※会場駐車場はご利用いただけますが、台数が非常に限られており、満車となる可能性があります。
※会場の際は、公共交通機関のご利用にご協力ください。

内容 ●展示会 ●ピッチトーク・トークセッション

対象者 食品、ウェルネス産業等に関心のある事業者、研究機関、金融機関、行政の方

参加無料

事前登録制



申込方法

QRコードまたは、下記URLより専用申込フォームへアクセスし、事前にお申し込みください。
https://shizuoka-wellnessfoods-expo.com/?utm_source=fl&utm_medium=qr&utm_campaign=2026

※同時開催の「TECH BEAT Shizuoka 2026」と共通の会場登録が必要です。※1つのメールアドレスで
複数人の登録はできません。必ず1名につき1つのメールアドレスを使用してください。※登録はイベント
当日まで可能ですが、会場受付の混雑を避けるため、事前登録のご協力をお願いいたします。

同時開催

静岡の現場力でAIは進化する。

TECH BEAT Shizuoka 2026

7/23(木) 24(金) 25(土)

【お問い合わせ】公益財団法人 静岡県産業振興財団 ウェルネス・フーズ産業支援センター

〒420-0853 静岡市葵区追手町44-1 E-mail newfoods@ric-shizuoka.or.jp TEL.054-254-4513 FAX.054-253-0019

主催/公益財団法人 静岡県産業振興財団 共催/静岡県

経営者同士の交流で、意思決定力・実行力を高める支援プログラム

SHIZUOKA X-LEADERS

一次の成長は、次の経営者から始まるー

募集期限

7/30(木)

静岡県内の中小企業の次世代の経営者・後継者、経営幹部を対象に、経営者としての土台づくりから、これからの経営に欠かせないAI・DXのテーマまでを実践的に学ぶプログラムを実施します。
経営フレームワークの習得に加え、先輩経営者の実例からリアルな意思決定や挑戦のプロセスに触れ、自社の成長段階に応じて必要となる経営戦略を学びます。さらにプログラムを通じて、業界を超えた経営者との出会いと対話を重ねながら、挑戦を支え合う経営者同士のネットワークを築きます。事業成長に本気で取り組みたい経営者・後継者の皆様の応募をお待ちしています。



プログラム内容



インプット講義

フレームワークを使用して
ノウハウを体系的に習得



先輩経営者による講演

リアルな実例から意思決定の
背景や挑戦のプロセスを学ぶ



グループディスカッション

他業種の経営者との対話を通じ学
びを具体化し、実行につなげる

開催日時

全6回の集中講座

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

8/29 土

9/15 火

10/21 水

11/17 火

12/15 火

2/16 火

15:00~17:30

第2回以降は17:30~19:30に実施します

プログラムへの申込・詳細は、事業ホームページから

※プログラムの詳細や申込方法を公開しています



主催 静岡県

問い合わせ：有限責任監査法人トーマツ

メール：atotugi.shizuoka@tohmatu.co.jp

※本事業は有限責任監査法人トーマツが運営しています



経営者のぶれない軸を作る実践型支援プログラム

SHIZUOKA SCALE-UP DRIVE

— 構想を実行に移し、事業を加速させる —

静岡県内経済を牽引する次世代の経営者を対象に、新たな事業機会の創出（第二創業）における「戦略構想」を実行可能な事業計画へ具体化し、早期の実行につなげることを目的とした実践型プログラムです。経営者としてよりどころとなる経営者のパーパス（志）と経営判断基準（軸）を明確化し、その志に実現に向けた事業構想と具体的なアクションプランの策定に取り組みます。新規事業や第二創業等に本気で取り組みたい経営者・後継者の皆様の応募をお待ちしています。



参加メリット

1. 経営者のパーパス（志）および経営判断基準（軸）の明確化
2. 個別メンタリングによる事業構想の具体化（実現可能性の向上）
3. 確実な実行に向けたアクションプラン・ロードマップの構築

プログラム内容



ピア・ラーニング

参加者相互のディスカッション
・相互メンタリング



エキスパートレビュー

専門家・先輩経営者による
多角的な個別メンタリング



ピッチイベントの実施

磨き上げた事業構想を発表し、
関係者からの共感・支援を獲得

プログラムへの申込・詳細は、事業ホームページから
※プログラムの詳細や申込方法を公開しています



主催 静岡県

問い合わせ：有限責任監査法人トーマツ
メール：atotugi.shizuoka@tohatsu.co.jp
※本事業は有限責任監査法人トーマツが運営しています

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 38,153百万円

* 前年同月比： 0.5%減

(県内3百貨店、164スーパー合計)

<概 況>

4月の大型小売店販売額は38,153百万円で、前年同月比 0.5%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパー（同 0.8%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、家庭用品（同 0.8%減）が4か月ぶり、衣料品（同 4.8%減）が16か月連続、身の回り品（同 11.3%減）が18か月連続、飲食料品（同 1.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.8%増と、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
販 売 額 (百 万 円)	37,392	39,321	40,885	48,140	41,546	36,973	40,370	38,153
前 年 同 月 比 (%)	1.5	4.7	5.5	0.8	3.7	3.6	▲ 0.5	▲ 0.5
うち 百貨店 (%)	▲ 7.4	2.3	1.7	▲ 2.5	0.7	1.7	▲ 0.2	1.7
スーパー (%)	3.0	5.2	6.2	1.5	4.2	3.9	▲ 0.6	▲ 0.8
(参考1) 全国前年同月比 (%)	1.9	3.3	3.2	▲ 0.1	2.6	1.8	1.1	2.0
うち 百貨店 (%)	1.4	4.2	0.9	▲ 1.0	2.4	2.0	3.4	5.6
スーパー (%)	2.1	3.0	4.2	0.4	2.6	1.8	0.3	0.8
(参考2) 県前年同月比 (店舗数調整前)	2.2	4.7	5.3	0.6	2.7	1.9	▲ 0.4	0.8

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
衣 料 品	▲ 26.6	▲ 14.6	▲ 15.4	▲ 24.1	▲ 4.8	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 4.8
うち 紳 士 服 ・ 洋 品	▲ 23.6	▲ 19.3	▲ 19.7	▲ 31.0	▲ 10.7	▲ 12.9	▲ 14.3	▲ 11.9
婦 人 ・ 子 供 服 ・ 洋 品	▲ 27.3	▲ 12.4	▲ 12.8	▲ 20.0	▲ 2.8	▲ 7.3	▲ 5.8	▲ 3.2
身 の 回 り 品	▲ 0.7	▲ 19.3	▲ 20.0	▲ 20.3	▲ 5.5	▲ 1.8	▲ 20.3	▲ 11.3
飲 食 料 品	4.0	5.9	6.2	3.2	4.3	3.3	▲ 0.9	▲ 1.2
家 庭 用 品	▲ 11.5	▲ 5.6	▲ 3.2	▲ 11.5	2.5	8.8	3.1	▲ 0.8
うち家庭用電気機械器具	5.6	18.6	23.9	7.4	17.7	34.6	19.9	17.0

(注) 店舗数調整済、全月速報値

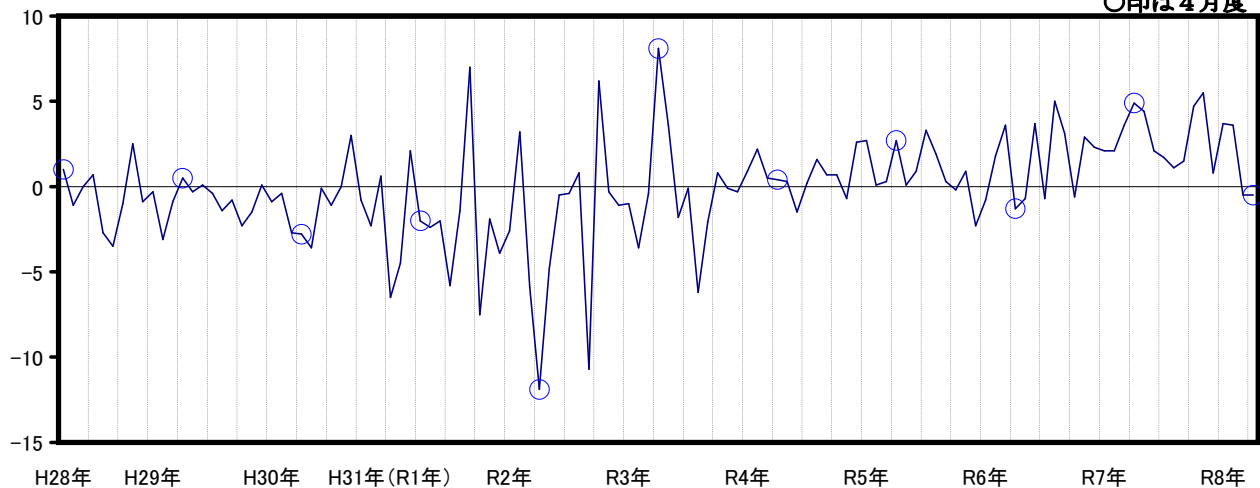
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(2) 専門量販店等販売額

4 月 = 80,355百万円

*前年同月比： 3.7%増

(県内91家電大型専門店、1,675コンビニエンスストア、625ドラッグストア、112ホームセンター合計)

<概 況>

4月の専門量販店等販売額は80,355百万円で、前年同月比 3.7%増となり、4か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 10.3%増）が4か月連続、ドラッグストア（同 5.6%増）が8か月連続、ホームセンター（同 4.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。なお、コンビニエンスストアは前年度と同水準であった。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
販 売 額 (百 万 円)	78,109	79,002	80,144	89,670	79,645	73,609	85,619	80,355
前 年 同 月 比 (%)	1.3	2.1	3.8	▲ 0.3	3.7	2.7	2.4	3.7
うち 家電大型専門店 (%)	▲ 1.7	9.7	6.8	▲ 2.6	11.9	4.0	3.0	10.3
コンビニエンスストア (%)	1.8	0.8	2.6	0.5	1.3	1.8	2.3	0.0
ドラッグストア (%)	3.0	1.9	5.1	1.2	3.8	4.3	2.6	5.6
ホームセンター (%)	▲ 3.8	0.7	0.3	▲ 6.0	2.3	▲ 1.6	1.1	4.2
(参考) 全国前年同月比 (%)	3.3	4.5	5.3	1.5	3.8	3.0	3.9	4.6

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

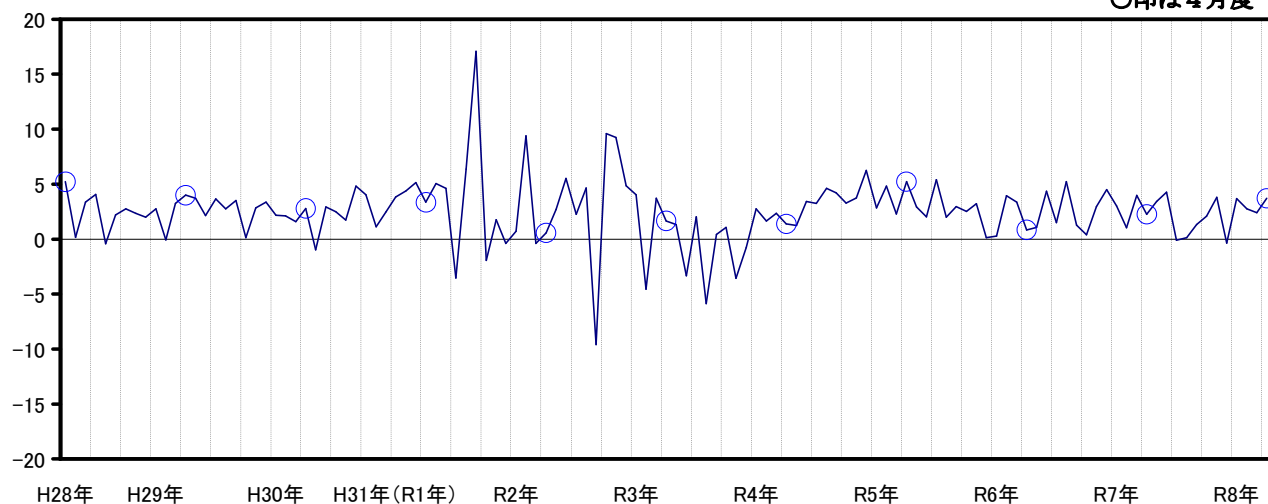
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比 (%)

<資料>経済産業省

○印は4月度



(3) 自動車新規登録・販売台数

4 月 = 11,132 台

* 前年同月比： 4.5%増

(乗用車新規登録台数、軽乗用車新規販売台数合計)

<概 況>

4月の自動車新規登録・販売台数は、11,132台で、4か月ぶりに前年実績を上回った。
車種別にみると、軽自動車（前年同月比 12.2%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、乗用車（同 16.8%増）が4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
新規登録・販売台数(台)	13,625	12,525	11,460	10,982	11,930	13,481	15,422	11,132
前 年 同 月 比 (%)	4.6	0.9	▲ 6.2	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 7.0	▲ 0.8	▲ 6.2	▲ 7.3	▲ 3.2	9.7

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会

(注) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽乗用車の合計値

<車種別新車新規台数前年同月比の推移>

(単位：%)

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
新規登録・販売台数	4.6	0.9	▲ 6.2	2.8	▲ 9.8	▲ 7.0	▲ 2.6	4.5
乗 用 車	2.7	▲ 2.6	▲ 5.9	6.0	▲ 11.7	▲ 10.5	▲ 7.3	16.8
軽 自 動 車	7.1	6.3	▲ 6.5	▲ 1.3	▲ 7.0	▲ 2.0	5.1	▲ 12.2

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

(注1) 新規登録・販売台数は、乗用車と軽自動車の合計値を元に算出

(注2) 乗用車は、新車新規登録台数の内、小型乗用車と普通乗用車の合計値を元に算出

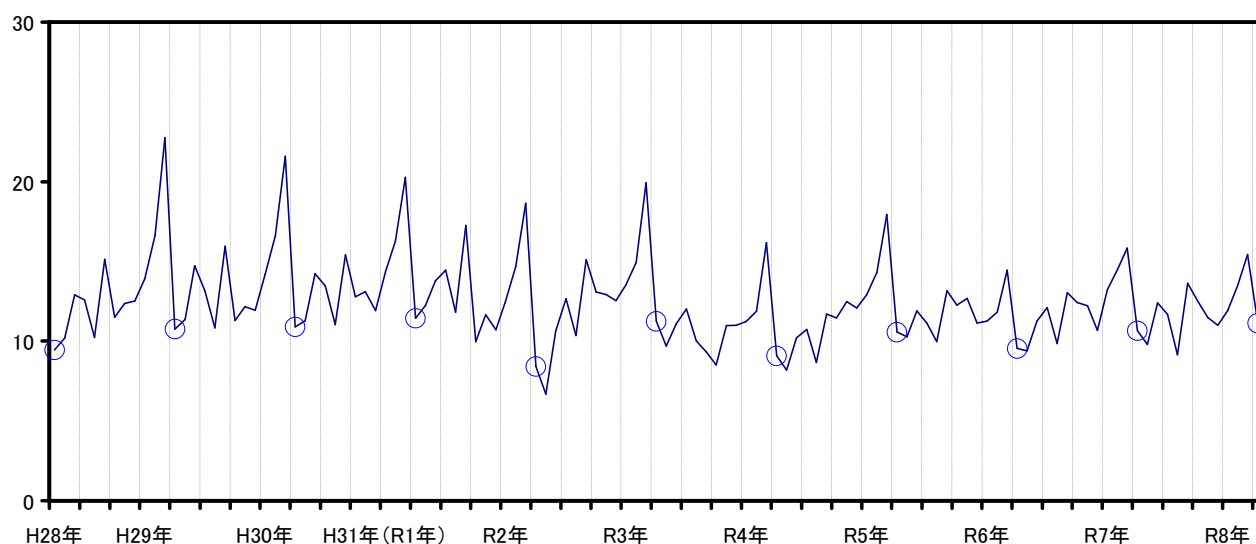
(注3) 軽自動車は、新車新規販売台数の内、乗用車を元に算出

<過去10年間の推移>

自動車新規登録・販売台数(千台)

<資料>県税務課、全国軽自動車協会連合会

○印は4月度



2 新設住宅着工戸数

4 月 = 1,573 戸

* 前年同月比： 11.4%増

<概 況>

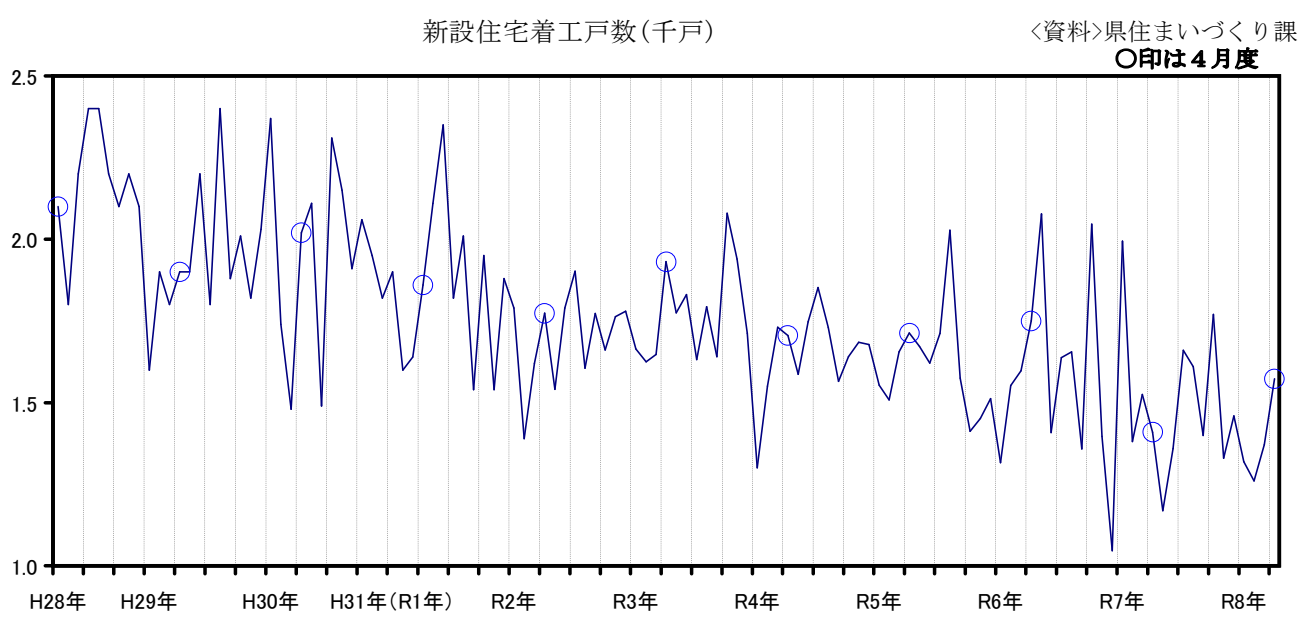
4 月の新設住宅着工戸数は1,573戸で、前年同月比 11.4%増と、4 か月ぶりに前年実績を上回った。
利用関係別にみると、分譲住宅（前年同月比 15.3%減）が2 か月ぶりに前年実績を下回ったものの、持家（同 12.3%増）が4 か月ぶり、貸家（同 41.6%増）が2 か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
戸 数 (戸)	1,403	1,766	1,327	1,456	1,316	1,261	1,371	1,573
前 年 同 月 比 (%)	3.2	▲ 13.7	▲ 4.9	39.1	▲ 34.0	▲ 8.7	▲ 10.1	11.4
う ち 持 家 (%)	▲ 8.7	▲ 1.5	▲ 9.6	17.1	▲ 20.9	▲ 20.2	▲ 1.8	12.3
貸 家 (%)	11.5	0.3	27.9	153.5	▲ 45.4	30.2	▲ 33.6	41.6
分譲住宅 (%)	37.6	4.3	▲ 23.8	25.5	▲ 28.8	▲ 31.5	23.5	▲ 15.3
(参考) 全国前年同月比 (%)	▲ 7.3	3.2	▲ 8.5	▲ 1.3	▲ 0.4	▲ 4.9	▲ 29.3	11.4

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>



3 設備投資

＜概 況＞

令和7年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

令和8年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 3.3%増）で増加、非製造業（同 2.3%減）で減少し、全産業（同 1.1%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 1.3%増）で増加、非製造業（同 0.2%減）で減少し、全産業（同 1.0%増）では増加する計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は97,858㎡で、前年同月比 12.6%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

＜企業短期経済観測調査結果＞（前年度比％（ ）内は前回調査比修正率）

設備投資（含む土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 8.0) 13.9	1.1
	全国	(▲ 0.6) 7.9	1.3
製造業	県	(▲12.7) 20.9	3.3
	全国	(▲ 2.6) 9.9	2.6
非製造業	県	(0.3) 4.7	▲ 2.3
	全国	(0.7) 6.8	0.6

ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R7年度 (計画)	R8年度 (計画)
全産業	県	(▲ 2.4) 11.5	1.0
	全国	(▲ 1.3) 7.8	2.7
製造業	県	(▲ 2.8) 14.0	1.3
	全国	(▲ 1.2) 7.7	3.1
非製造業	県	(▲ 0.8) 2.0	▲ 0.2
	全国	(▲ 1.3) 8.0	2.3

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年3月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査（令和8年3月調査）」

＜最近の動き＞

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	37,380	67,567	50,576	51,895	68,568	49,992	92,180	97,858
前年同月比（％）	▲ 57.6	▲ 47.2	▲ 18.7	▲ 4.0	▲ 57.6	▲ 27.9	113.3	12.6
（参考）全国前年同月比（％）	▲ 3.1	▲ 8.0	▲ 25.1	▲ 5.9	3.2	▲ 11.0	▲ 12.3	▲ 26.1

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

＜資料＞国土交通省

＜参考 県内企業の業況判断D. I. ＞

		R 7 年12月	R 8 年 3 月	R 8 年 6 月 (予測)
全 産 業		8	8	1
	製 造 業	▲ 6	▲ 1	▲ 5
	非 製 造 業	20	17	7
(参考) 全国 ・ 全産業		18	18	11

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比％ポイント

＜資料＞ 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（令和8年3月調査）」

4 公共工事請負金額

4 月 = 54,760百万円

* 前年同月比： 16.3%減

(建設保証会社保証実績)

<概 況>

4月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は54,760百万円で、前年同月比 16.3%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は481件で、前年同月比8.1%増となり、7か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
金 額 （ 百 万 円 ）	46,869	19,857	14,761	24,559	10,667	8,504	28,173	54,760
前 年 同 月 比 （ % ）	44.8	▲ 9.2	▲ 18.5	116.0	▲ 30.2	▲ 35.1	▲ 10.6	▲ 16.3
年度累計前年同月比（%）	16.9	14.7	12.5	16.6	14.2	12.2	10.1	▲ 16.3
件 数 （ 件 ）	1,012	646	465	394	238	138	357	481
前 年 同 月 比 （ % ）	11.6	▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 4.4	▲ 8.8	▲ 28.1	▲ 33.9	8.1
年度累計前年同月比（%）	▲ 4.5	▲ 5.1	▲ 5.4	▲ 5.4	▲ 5.5	▲ 6.2	▲ 8.3	8.1

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

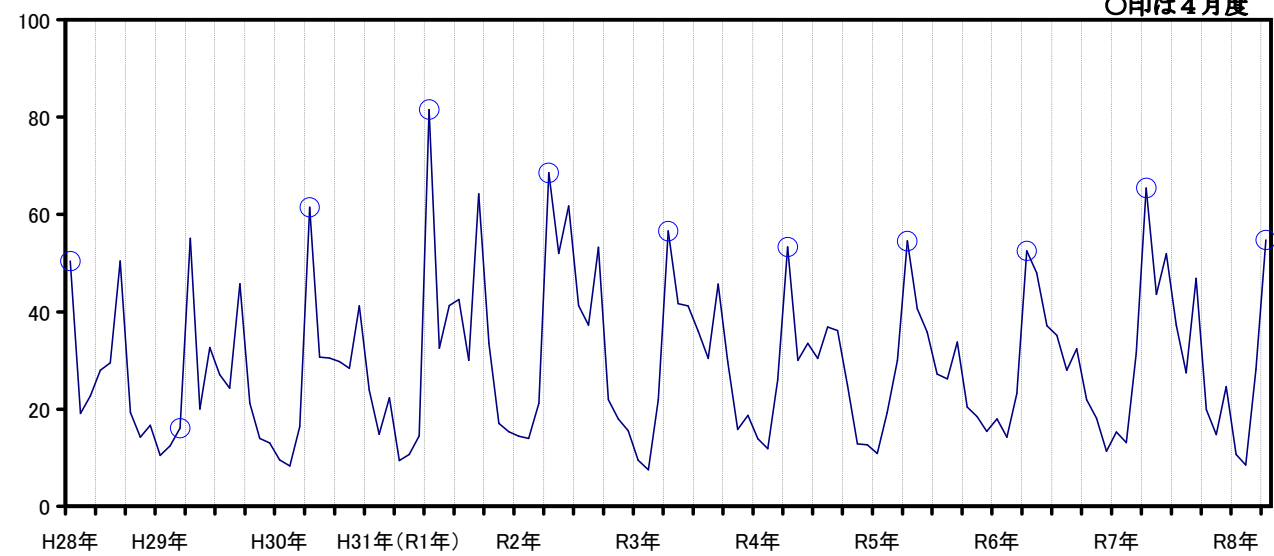
	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
国	21.4	69.7	▲ 49.0	66.2	63.3	▲ 28.5	41.2	65.1
独 立 行 政 法 人 等	1,772.5	10.2	▲ 91.1	7,807.0	▲ 98.3	40.9	310.3	▲ 10.2
県	18.4	▲ 22.9	▲ 14.5	▲ 15.5	▲ 1.6	▲ 61.3	▲ 48.3	▲ 33.4
市 町	15.9	▲ 14.7	17.0	7.7	▲ 51.2	▲ 28.0	▲ 12.3	▲ 13.3
地 方 公 社	1,301.4	▲ 87.0	-	6,848.3	-	-	-	-
そ の 他	48.6	276.8	▲ 69.7	▲ 46.0	▲ 67.9	▲ 54.6	▲ 77.0	▲ 9.9

<資料>東日本建設業保証(株) 静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株) 静岡支店



5 輸出

4 月 = 250,854百万円

* 前年同月比： 12.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

＜概 況＞

4月の清水税関支署管内の輸出総額は250,854百万円で、前年同月比 12.8%増となり、7か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 6.0%減）が7か月連続、エアコン（同10.7%減）、科学光学機器（同 30.2%減）がいずれも6か月連続で前年実績を下回ったものの、二輪自動車類（同1.4%増）が2か月ぶり、自動車（同 17.7%増）が4か月連続、自動車の部分品（同 26.0%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、米国向け（同 2.5%増）が3か月ぶり、アジア向け（同 17.4%増）が5か月連続、EU向け（同 19.6%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

＜最近の動き＞

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
輸 出 総 額（百 万 円）	213,510	230,911	263,762	256,426	204,677	234,891	239,646	250,854
前 年 同 月 比（%）	▲ 1.7	8.7	28.2	5.9	24.8	6.9	9.8	12.8
（参考）全国前年同月比（%）	4.2	3.6	6.1	5.1	16.8	4.2	11.7	14.8

＜資料＞清水税関支署

＜主要品目別前年同月比の推移＞

(単位: %)

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
原 動 機	2.7	▲ 13.0	▲ 14.9	▲ 4.3	▲ 19.5	▲ 19.8	▲ 7.6	▲ 6.0
エ ア コ ン	7.3	20.3	▲ 11.8	▲ 40.8	▲ 6.0	▲ 34.6	▲ 53.7	▲ 10.7
自 動 車	▲ 8.4	15.3	▲ 17.9	▲ 7.5	65.7	15.5	74.6	17.7
自 動 車 の 部 分 品	13.2	31.2	48.0	47.8	41.6	26.8	32.2	26.0
二 輪 自 動 車 類	▲ 8.2	24.2	13.5	9.3	99.9	11.0	▲ 2.7	1.4
科 学 光 学 機 器	▲ 13.7	11.4	▲ 21.5	▲ 9.9	▲ 15.6	▲ 37.8	▲ 29.3	▲ 30.2

＜資料＞清水税関支署

＜地域別前年同月比の推移＞

(単位: %)

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
ア ジ ア	▲ 3.1	9.7	▲ 3.7	19.6	20.8	5.7	18.0	17.4
米 国	▲ 12.3	▲ 6.3	100.4	▲ 9.5	17.6	▲ 13.0	▲ 4.5	2.5
E U	4.0	38.2	26.9	1.3	53.2	13.5	7.4	19.6

＜資料＞清水税関支署

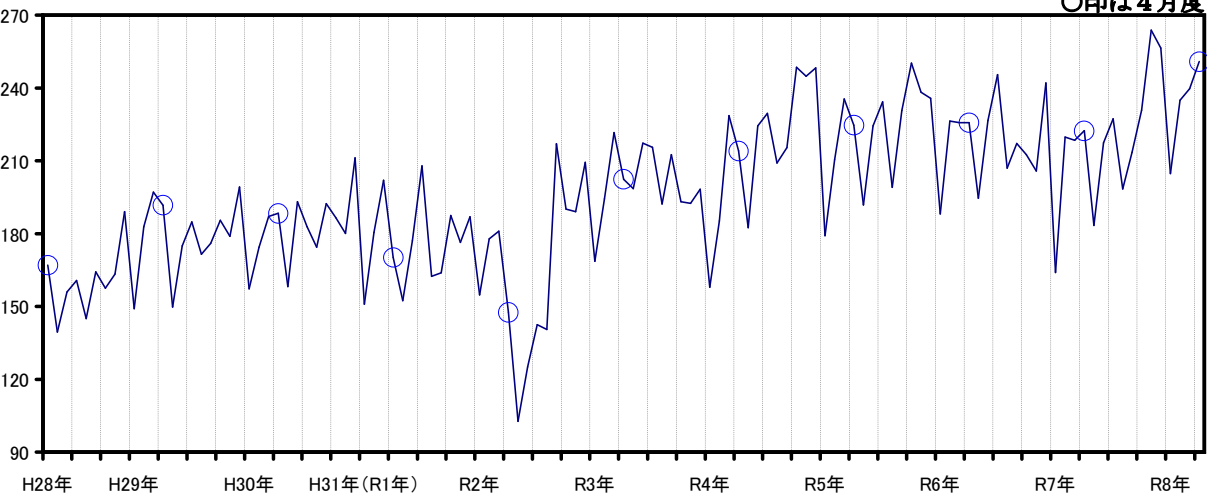
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

＜過去10年間の推移＞

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

＜資料＞清水税関支署

○印は4月度



6 輸入

4 月 = 145,584百万円

* 前年同月比： 20.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概 況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は145,584百万円で、2か月ぶりに前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、木材（前年同月比 6.9%減）が5か月ぶり、原動機（同 30.8%減）が3か月ぶり、パルプ（同 4.9%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、紙類及び同製品（同 8.9%増）が2か月ぶり、魚介類及び同調製品（同 20.6%増）が5か月連続、自動車の部分品（同 0.4%増）が3か月連続で前年実績を上回った。
 地域別では、EUから（同 4.1%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 20.2%増）が2か月ぶり、米国から（同 30.7%増）が5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
輸入総額（百万円）	123,981	122,461	112,571	127,008	137,578	125,104	117,184	145,584
前年同月比（%）	6.9	8.0	7.3	5.4	▲ 1.7	24.0	0.0	20.6

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
魚介類及び同調製品	38.5	10.7	▲ 3.1	21.8	5.1	79.2	8.8	20.6
木 材	▲ 6.6	17.4	▲ 12.7	21.9	78.2	24.6	2.6	▲ 6.9
パ ル プ	▲ 9.7	▲ 8.3	▲ 21.2	▲ 25.4	▲ 4.3	▲ 33.1	▲ 12.8	▲ 4.9
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 14.2	▲ 2.6	▲ 28.3	▲ 17.6	▲ 7.5	23.7	▲ 13.3	8.9
原 動 機	▲ 22.6	▲ 30.3	20.8	12.1	▲ 11.9	29.3	16.1	▲ 30.8
自 動 車 の 部 分 品	5.7	36.9	9.7	21.8	▲ 1.5	46.8	30.8	0.4

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 7年9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
ア ジ ア	4.1	16.7	20.7	23.3	▲ 7.0	43.9	▲ 9.0	20.2
米 国	▲ 8.8	12.9	20.6	▲ 9.9	▲ 33.7	▲ 9.5	▲ 9.7	30.7
E U	▲ 18.4	18.1	▲ 18.5	▲ 9.3	3.5	49.9	27.8	▲ 4.1

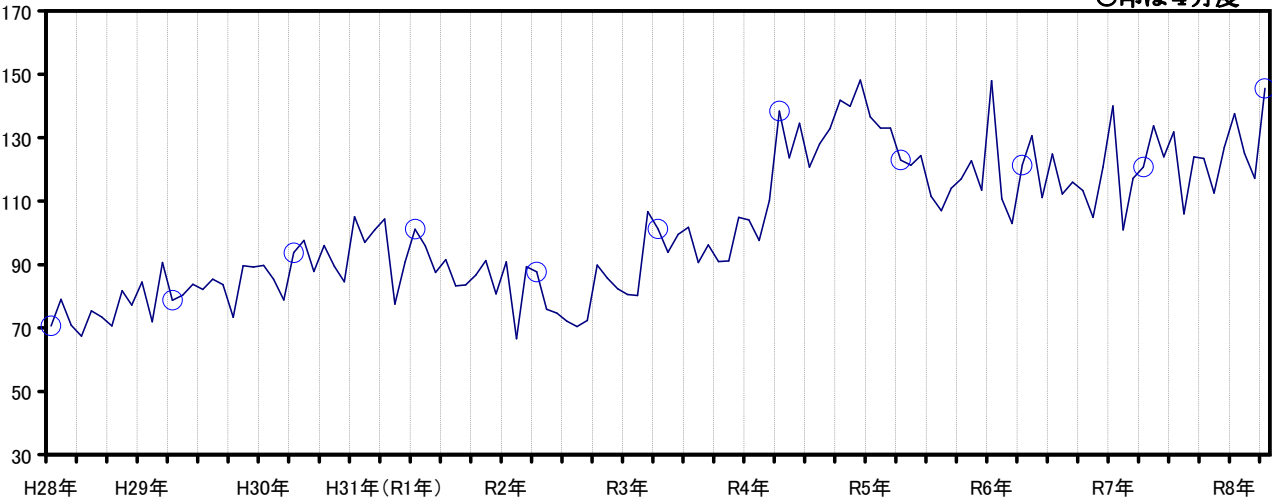
<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は4月度



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

4 月 = 98.8

(令和2年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.5%増

*前年同月比(原指数) : 5.9%増

<概況>

4月の鉱工業生産指数(総合)は98.8(季節調整済指数)で、前月比は0.5%増と、3か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は5.9%増と、3か月連続で前年水準を上回った。業種別にみると、輸送機械(前年同月比1.3%減)が5か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同16.2%増)が2か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同2.2%増)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同11.1%増)が3か月ぶり、化学(同24.4%増)が3か月連続で前年水準を上回った。なお、電気機械は前年同水準であった。

<最近の動き>

	R7年9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月
指数	94.9	97.1	95.1	91.6	100.7	99.5	98.3	98.8
前月比(%)	▲0.4	2.3	▲2.1	▲3.7	9.9	▲1.2	▲1.2	0.5
前年同月比(%)	1.8	2.0	▲4.3	0.9	▲0.6	1.6	7.0	5.9
(参考)全国前年同月比(%)	3.8	1.6	▲2.2	2.6	0.7	0.4	2.4	2.0

(注)令和2年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R7年9月	10月	11月	12月	R8年1月	2月	3月	4月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲11.2	▲15.9	4.9	▲6.8	▲3.3	11.9	▲6.3	16.2
電気機械工業	4.4	10.7	▲9.3	▲0.6	▲5.6	▲2.6	▲0.7	0.0
輸送機械工業	6.4	4.0	▲1.8	6.0	7.3	2.2	15.6	▲1.3
化学工業	1.8	1.9	▲8.7	▲2.2	▲8.2	5.4	29.0	24.4
パルプ・紙・紙加工品工業	2.7	▲0.6	▲2.9	3.9	▲5.3	▲2.0	▲2.0	2.2
食料品・たばこ工業	▲2.4	1.2	▲3.2	8.4	3.2	▲0.6	▲3.8	11.1

(注)令和2年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

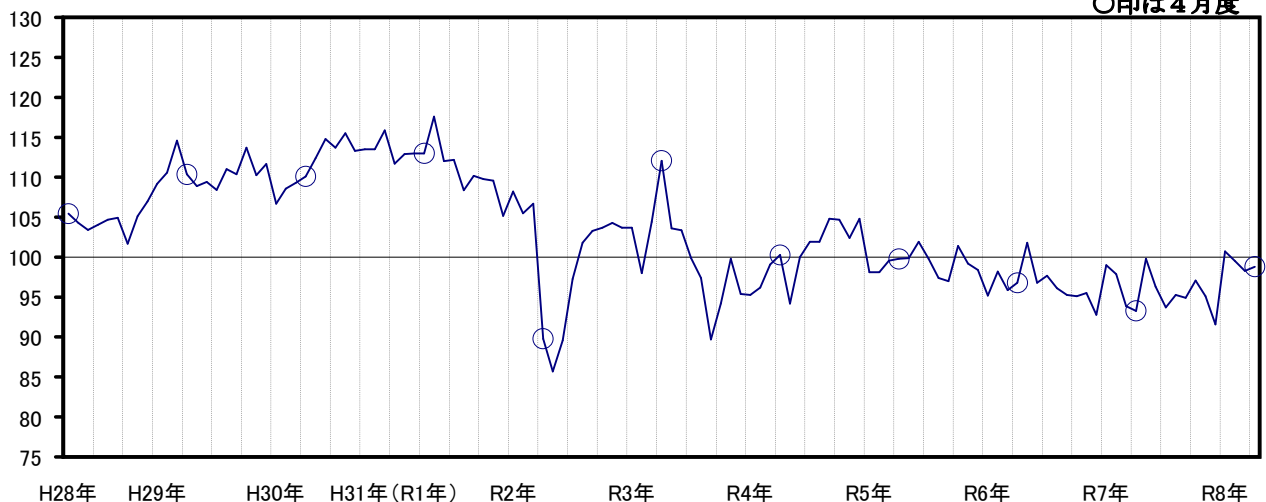
<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、令和2年=100)

<資料>県統計活用課

○印は4月度



(2) 鋳工業在庫指数

4 月 = 103.3

(令和 2 年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 4.4%減

* 前年同月比(原指数) : 0.3%増

<概況>

4 月の鋳工業在庫指数(総合)は103.3(季節調整済指数)で、前月比は4.4%減と、4 か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は0.3%増と、8 か月連続で前年水準を上回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み上がり局面(景気後退初期)」に該当する。

業種別にみると、化学(前年同月比 0.4%減)が2 か月ぶり、電気機械(同 3.2%減)が4 か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 9.9%減)が2 か月連続で前年水準を下回ったものの、食料品・たばこ(同 1.0%増)が2 か月ぶり、はん用・生産用・業務用機械(同 11.0%増)が6 か月連続、輸送機械(同 2.8%増)が5 か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
指 数	105.9	104.5	105.8	102.5	104.1	106.3	108.0	103.3
前 月 比 (%)	3.8	▲ 1.3	1.2	▲ 3.1	1.6	2.1	1.6	▲ 4.4
前 年 同 月 比 (%)	2.6	0.2	1.5	3.8	2.8	3.0	2.3	0.3
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 2.4	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 2.8	▲ 4.3	▲ 3.4	▲ 5.3	▲ 5.0

(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位: %)

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.1	▲ 0.4	5.2	6.3	12.3	15.0	8.9	11.0
電 気 機 械 工 業	▲ 0.9	1.1	▲ 1.3	0.5	▲ 5.7	▲ 8.0	▲ 4.7	▲ 3.2
輸 送 機 械 工 業	3.6	▲ 4.7	▲ 3.6	18.5	10.0	9.4	12.9	2.8
化 学 工 業	12.3	11.5	7.2	5.9	2.7	▲ 0.9	1.8	▲ 0.4
パ ル プ・紙・紙加工品工業	2.9	0.3	3.7	6.9	4.4	6.3	▲ 6.7	▲ 9.9
食 料 品・たばこ工業	▲ 4.5	▲ 8.8	▲ 4.3	▲ 8.3	▲ 4.1	0.2	0.0	1.0

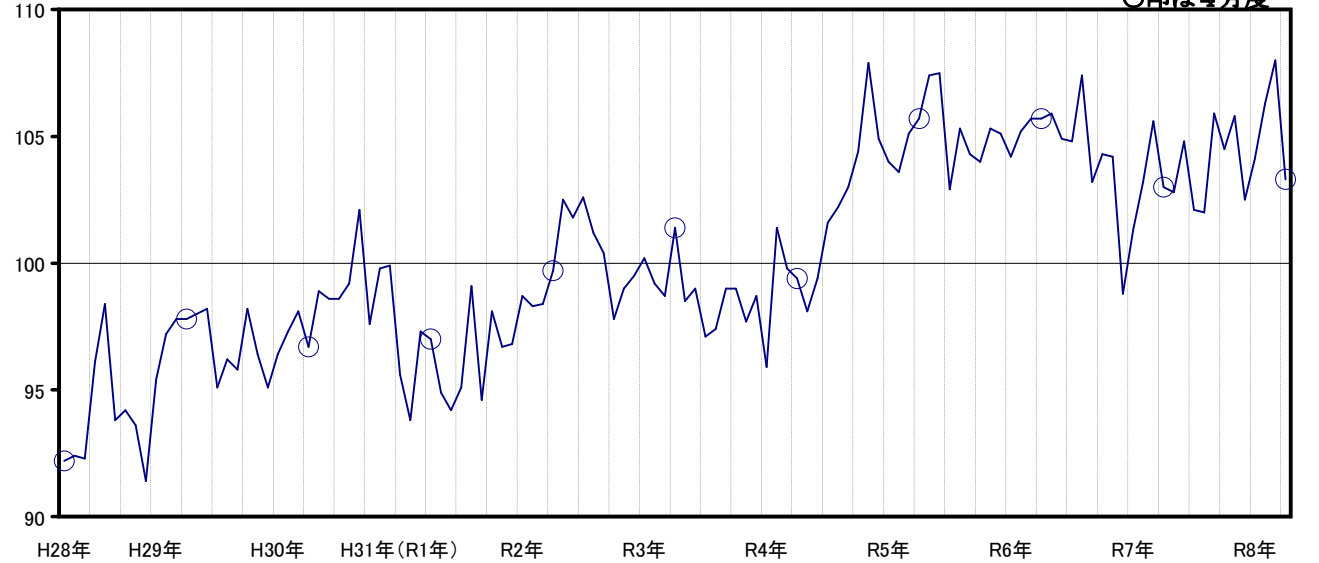
(注) 令和 2 年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、令和 2 年=100)

<資料>県統計活用課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.06倍

* 前月比（季節調整値）： 0.02ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

4月の有効求人倍率（受理地別、季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.06倍となり、前月を0.02ポイント下回った。63か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.12ポイント下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 8.6%減）は2か月ぶりに前年実績を下回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 43.1%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同 2.5%減）がいずれも2か月ぶり、建設業（同 5.2%減）が10か月連続、運輸業・郵便業（同 20.2%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業（同 10.9%増）が3か月ぶり、情報通信業（同 42.8%増）が2か月ぶり、医療・福祉（同 6.2%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
県（受理地別）	1.06	1.07	1.07	1.09	1.06	1.06	1.08	1.06
（参考）県（就業地別）	1.19	1.19	1.19	1.20	1.19	1.19	1.20	1.19
全 国	1.20	1.19	1.19	1.20	1.18	1.19	1.18	1.18

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
建 設 業	▲ 0.1	▲ 8.5	▲ 2.4	▲ 14.7	▲ 6.5	▲ 10.3	▲ 7.8	▲ 5.2
製 造 業	3.4	▲ 18.4	▲ 14.5	5.4	0.8	▲ 12.8	▲ 0.8	10.9
情 報 通 信 業	18.5	▲ 24.2	3.9	▲ 3.3	▲ 22.2	27.1	▲ 13.3	42.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 1.3	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 17.6	▲ 7.8	▲ 9.2	▲ 4.4	▲ 20.2
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 6.9	10.2	▲ 24.5	118.9	▲ 5.2	▲ 29.7	144.3	▲ 43.1
医 療 ・ 福 祉	0.0	3.5	▲ 11.1	1.6	▲ 0.2	▲ 5.2	0.3	6.2
サービス業（他に分類されないもの）	3.4	▲ 1.4	4.1	▲ 0.8	▲ 7.7	▲ 2.6	22.4	▲ 2.5
合 計	▲ 0.7	▲ 0.5	▲ 9.6	3.8	▲ 4.1	▲ 10.3	11.7	▲ 8.6

（注）学卒、パートタイムを除く

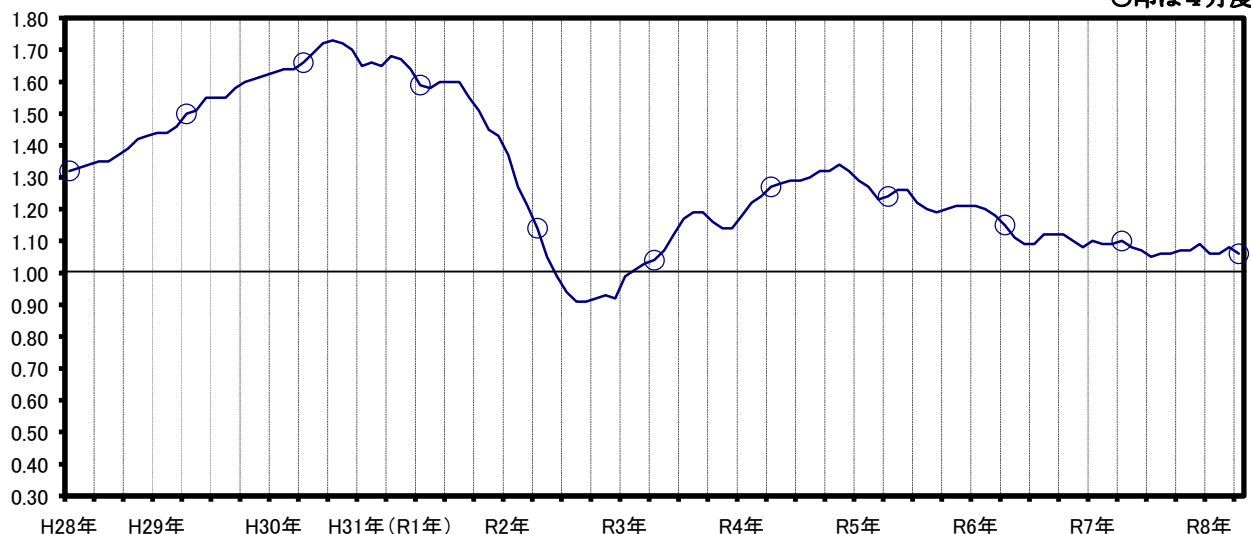
<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省

○印は4月度



(2) 雇用保険受給者実人員

4 月 = 12,271人

*前 月 比: 2.9%減

*前年同月比: 9.4%増

<概 況>

4月の雇用保険受給者実人員は12,271人で、前月比は2.9%減と、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は9.4%増と11か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率（全国）は2.5%と前月から0.2ポイント減少した。

静岡県（令和8年1～3月）の完全失業率は2.5%で、前期（令和7年10～12月）から0.3ポイント上昇した。

<最近の動き>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
実 人 員 (人)	14,982	14,620	13,482	13,497	12,833	11,991	12,636	12,271
前 月 比 (%)	1.1	▲ 2.4	▲ 7.8	0.1	▲ 4.9	▲ 6.6	5.4	▲ 2.9
前 年 同 月 比 (%)	13.6	11.2	9.6	9.9	6.7	4.1	12.7	9.4
(参考) 全国前年同月比 (%)	13.9	11.8	9.3	11.4	6.5	5.8	16.1	11.6

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率（全国）の推移>

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
完全失業率(全国) (%)	2.6	2.6	2.6	2.6	2.7	2.6	2.7	2.5

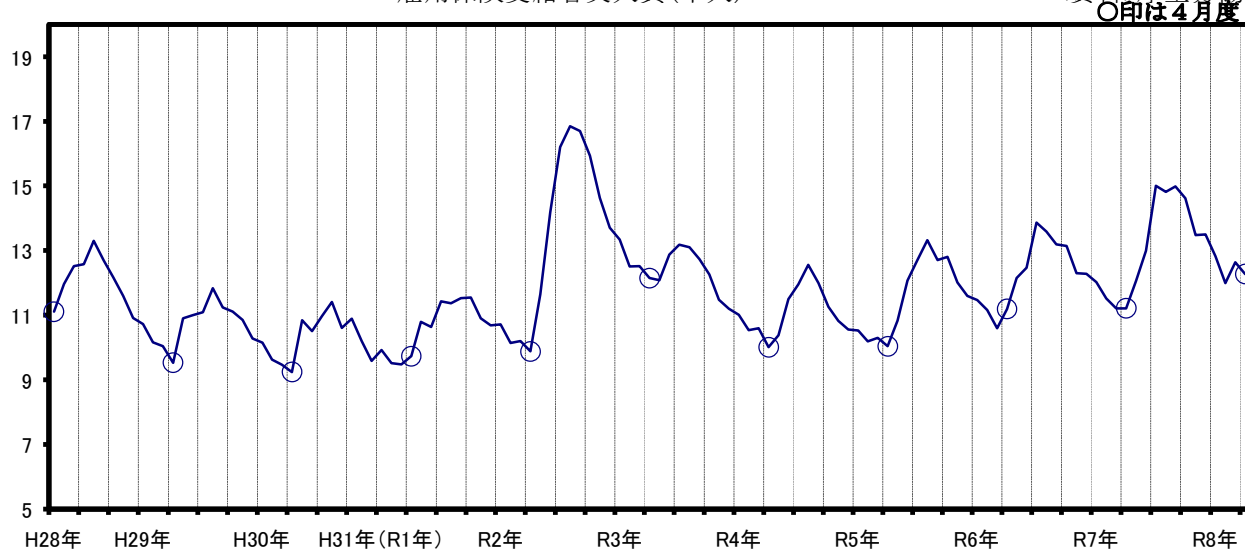
(注) 季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

3 月 = 119.5

* 前月比(季節調整済指数): 3.0%増

(令和 2 年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 0.0%

<概 況>

3 月の所定外労働時間指数（事業所規模30人以上、調査産業計）は119.5(季節調整済指数)で、2 か月連続で前月を上回った。また、前年同月比（原指数）は前年実績と同水準であった。

業種別にみると、卸売業・小売業（前年同月比 20.3%減）が2 か月ぶり、建設業（同 48.9%減）が16か月連続、運輸業・郵便業（同 4.9%減）が2 か月連続で下回ったものの、製造業（同 3.7%増）が19か月ぶり、その他のサービス業（同 4.5%増）が2 か月ぶり、情報通信業（同 6.4%増）が8 か月連続、医療・福祉（同 21.6%増）が3 か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R 7 年 8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月
指 数	114.7	123.6	124.9	123.9	121.7	115.1	116.0	119.5
前 月 比 (%)	▲ 7.9	7.8	1.1	▲ 0.8	▲ 1.8	▲ 5.4	0.8	3.0
前 年 同 月 比 (%)	▲ 6.8	▲ 0.8	4.7	▲ 4.3	0.0	0.0	▲ 4.0	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.9	▲ 2.4	▲ 0.8	1.8	0.0	1.6

*令和 2 年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数 <資料>県統計活用課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位: %)

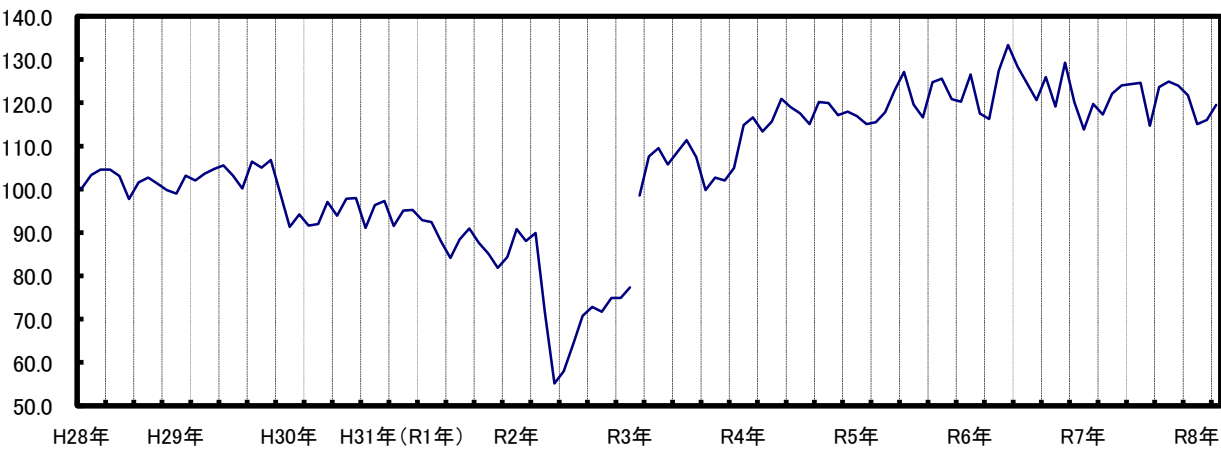
	R 7 年 8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月
建 設 業	▲ 23.2	▲ 42.6	▲ 17.9	▲ 29.4	▲ 25.3	▲ 38.8	▲ 24.5	▲ 48.9
製 造 業	▲ 12.0	▲ 8.1	▲ 7.9	▲ 1.9	▲ 9.2	▲ 6.9	▲ 2.1	3.7
情 報 通 信 業	15.2	32.7	11.6	58.0	49.2	35.2	176.3	6.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	18.4	2.6	12.5	12.0	30.5	11.7	▲ 12.7	▲ 4.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 15.4	▲ 3.1	5.8	10.9	17.2	▲ 16.7	8.8	▲ 20.3
医 療 ・ 福 祉	▲ 12.7	27.4	▲ 11.7	▲ 8.4	▲ 9.8	33.8	28.6	21.6
その他のサービス業	▲ 7.1	2.1	▲ 3.8	▲ 17.4	▲ 6.6	1.4	▲ 11.4	4.5
調 査 産 業 計	▲ 6.8	▲ 0.8	4.7	▲ 4.3	0.0	0.0	▲ 4.0	0.0

*令和 2 年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数 <資料>県統計活用課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和 2 年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(令和2年=100)

5 月 = 134.5

*前 月 比: 0.9%上昇

*前年同月比: 6.3%上昇

<概 況>

5月の国内企業物価指数は134.5となり、前月比は0.9%の上昇となった。また、前年同月比は6.3%の上昇となった。

	R 7 年10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	127.6	128.0	128.1	128.5	128.5	129.7	133.3	134.5
前 月 比 (%)	0.5	0.3	0.1	0.3	0.0	0.9	2.8	0.9
前年同月比 (%)	2.7	2.7	2.4	2.4	2.1	2.8	5.3	6.3

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

4 月 = 146,773億円

*前 月 比: 0.7%減

*前年同月比: 2.4%増

<概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は146,773億円で、前月比とは0.7%の減少となった。また、前年同月比は2.4%の増加となった。

	R 7 年9月	10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	145,547	145,328	145,910	146,916	147,146	147,051	147,844	146,773
前 月 比 (%)	0.0	▲ 0.2	0.4	0.7	0.2	▲ 0.1	0.5	▲ 0.7
前年同月比 (%)	1.5	1.9	1.7	1.9	2.4	2.4	2.7	2.4

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

3 月 = 1.675%

*前 月 差: 0.048ポイント増

*前年同月差: 0.240ポイント増

<概 況>

3月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.675%で、前月から0.048ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.240ポイントのプラスとなった。

	R 7 年8月	9月	10月	11月	12月	R 8 年1月	2月	3月
貸出約定金利 (%)	1.540	1.543	1.543	1.541	1.567	1.585	1.627	1.675
前月差(ポイント)	▲ 0.002	0.003	0.000	▲ 0.002	0.026	0.018	0.042	0.048
前年同月差(ポイント)	0.261	0.240	0.222	0.217	0.200	0.201	0.229	0.240

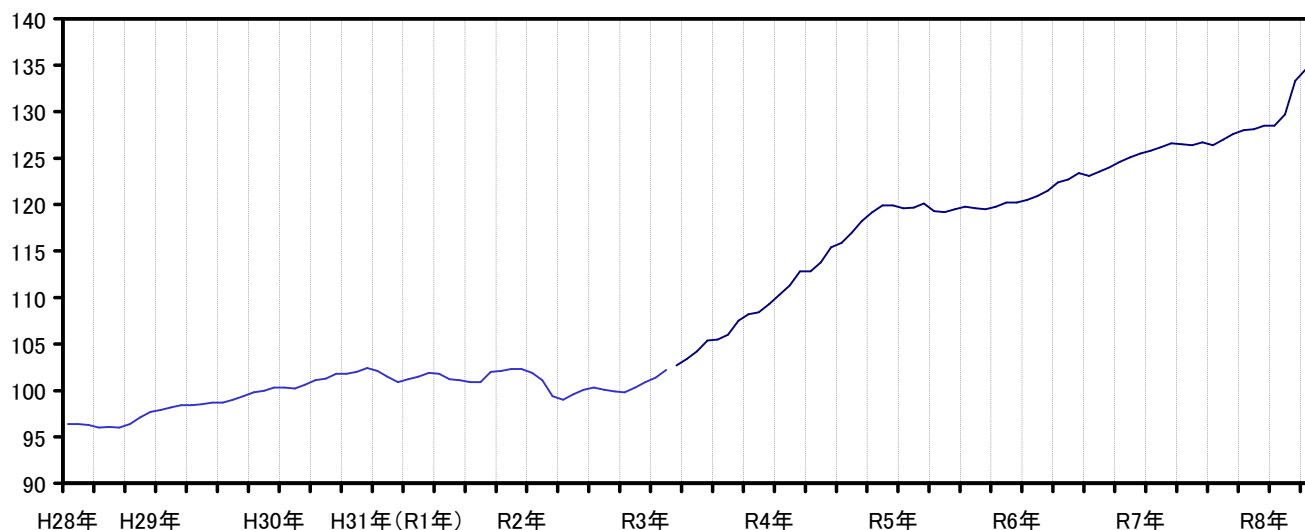
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

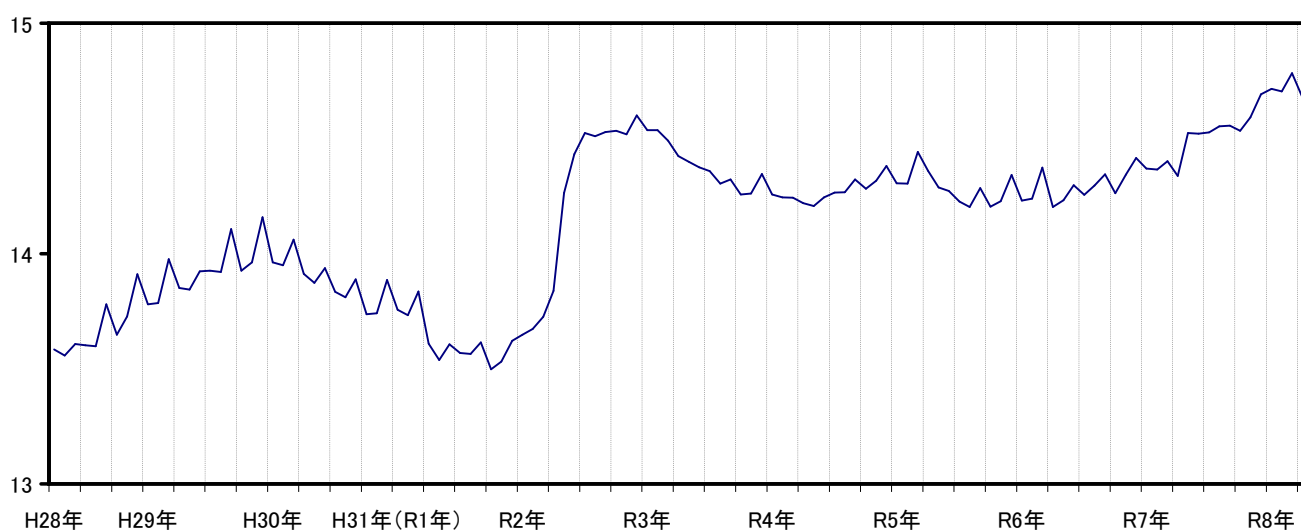
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



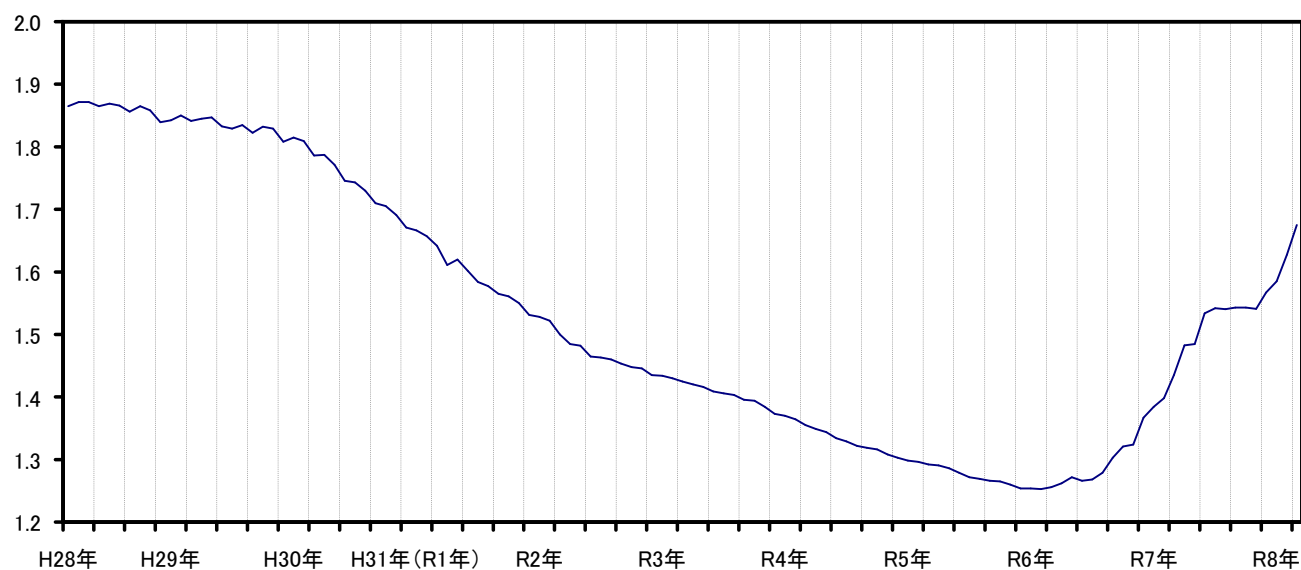
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額

4 月 = 13,375百万円

*前年同月比： 52.7%減

<概況>

4月の保証承諾は、金額は13,375百万円（前年同月比 52.7%減）と前年を下回り、件数は1,273件（同 29.7%減）と前年実績を下回った。

	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
保証金額（百万円）	25,391	16,213	16,907	20,988	14,036	17,393	27,430	13,375
前年同月比（%）	79.5	27.6	15.9	21.9	19.0	36.9	▲ 3.8	▲ 52.7
保証件数（件）	1,984	1,536	1,411	1,809	1,317	1,504	2,216	1,273
前年同月比（%）	34.0	18.5	2.8	25.3	10.7	18.4	1.5	▲ 29.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場

5 月 = 158.34円/ドル

*前 月 差： 0.94円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 13.59円安

<概況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は158.34円で、前月と比べて0.94円の円高となり、3か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

▲…円高

	R 7 年 10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
平均相場（円）	151.28	155.12	155.88	156.71	155.07	158.64	159.28	158.34
前 月 差（円）	3.34	3.84	0.76	0.83	▲ 1.64	3.57	0.64	▲ 0.94
前年同月差（円）	1.65	1.40	2.16	0.22	3.11	9.46	14.89	13.59

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営

企業倒産件数

4 月 = 19件

*前年同月比： 35.7%増

<概況>

4月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は19件（前年同月比 35.7%増）と前年実績を上回り、負債総額は 3,871百万円（同 142.7%増）と前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の78.9%を占め、36か月連続で50%以上となっている。

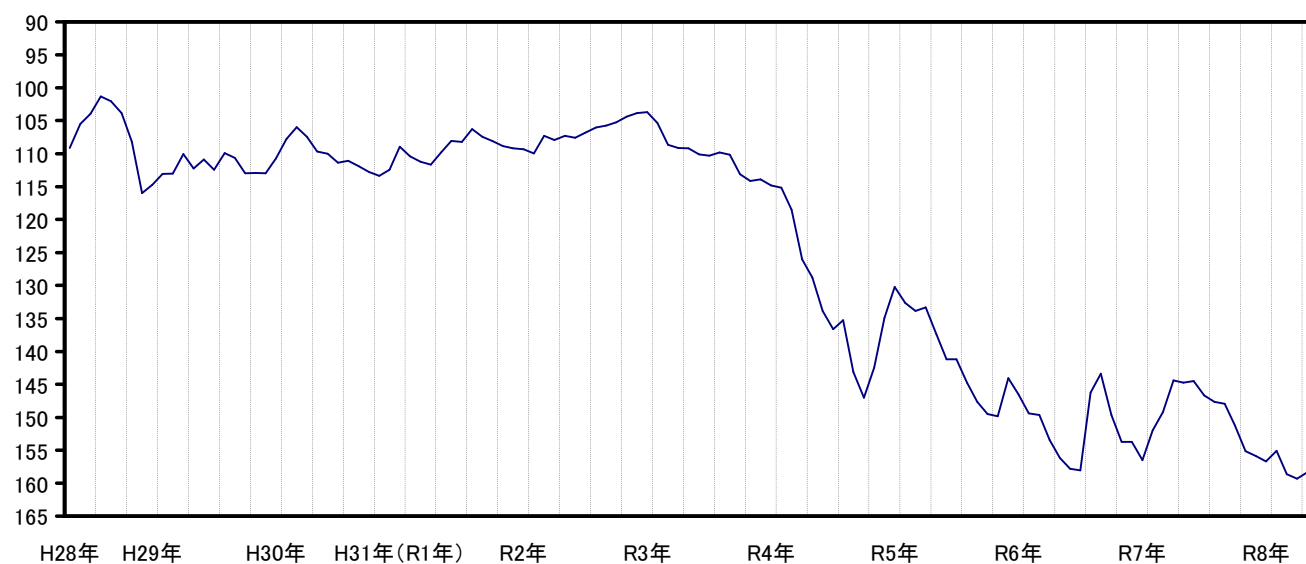
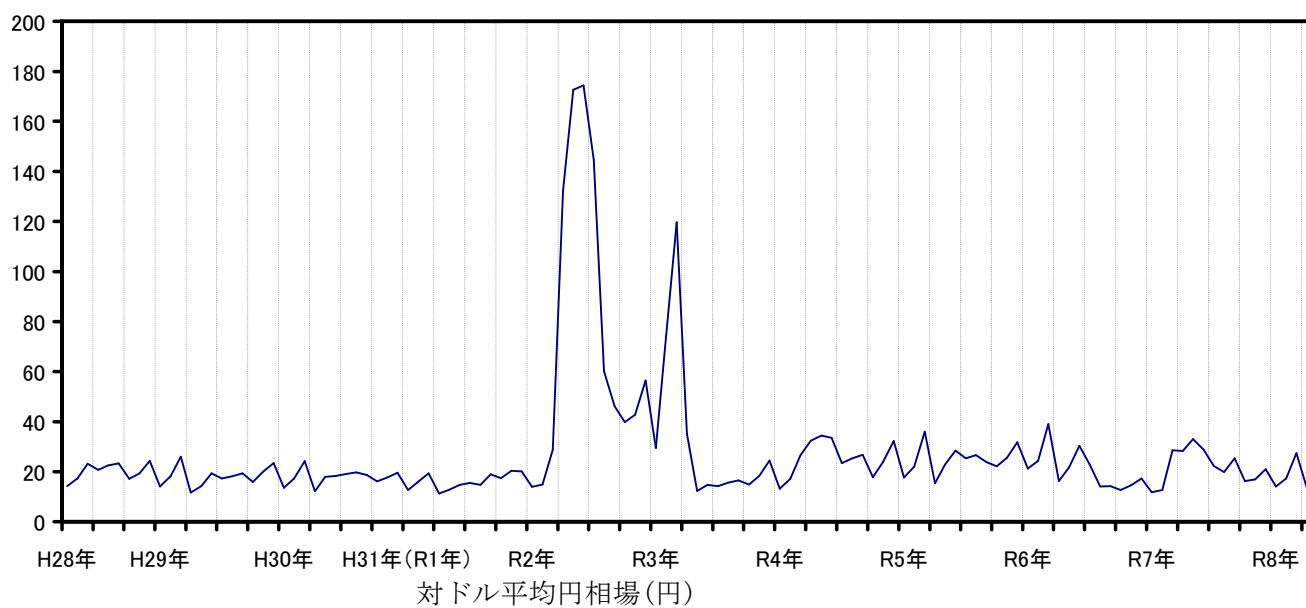
	R 7 年 9 月	10 月	11 月	12 月	R 8 年 1 月	2 月	3 月	4 月
倒産件数（件）	29	15	18	27	16	17	21	19
前年同月比（%）	38.1	▲ 48.3	38.5	58.8	▲ 15.8	▲ 5.6	▲ 19.2	35.7
うち不況型倒産件数（件）	25	11	17	20	16	16	20	15
負債総額（百万円）	3,380	1,693	3,149	3,196	1,710	1,895	2,657	3,871
前年同月比（%）	18.9	▲ 60.2	132.6	108.9	▲ 15.0	22.7	▲ 37.1	142.7

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

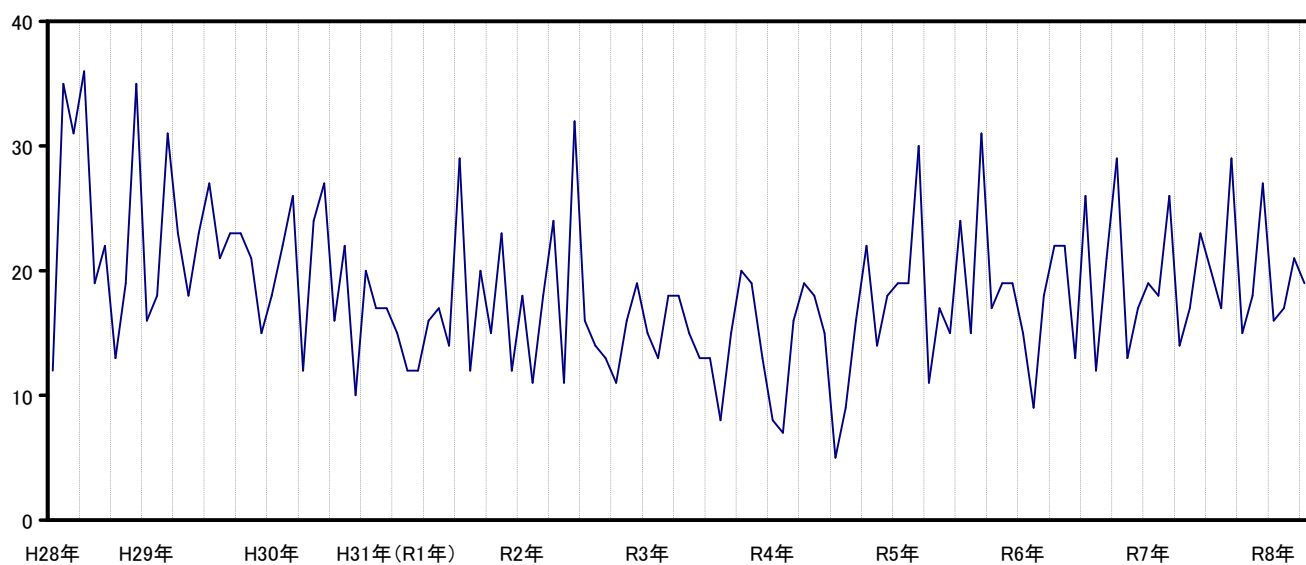
信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和８年４月を中心とした静岡県主要産業の動向

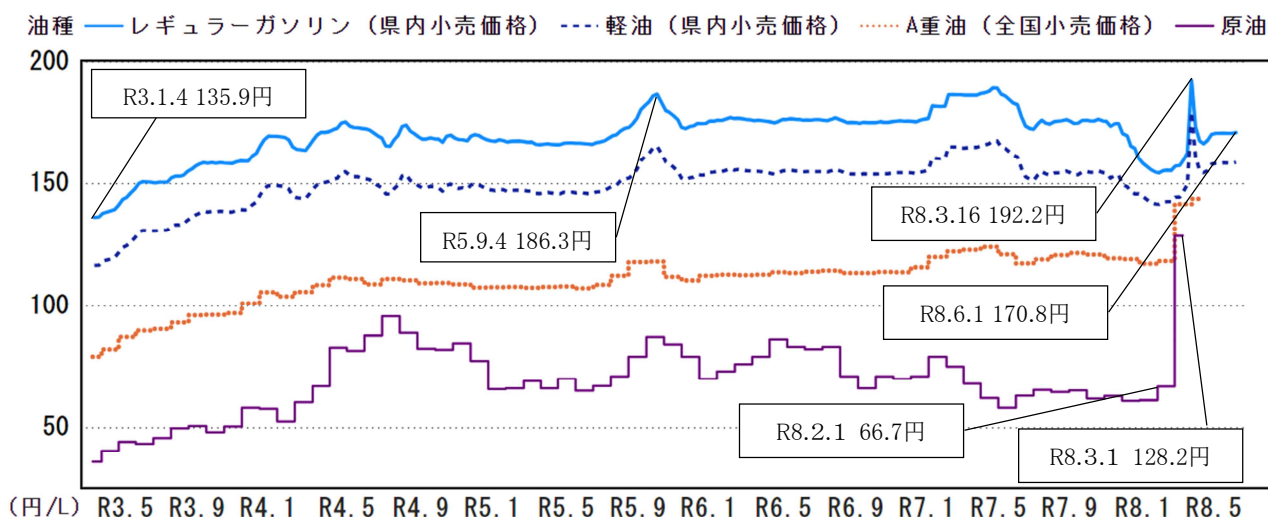
業 種	産 業 動 向
二 輪 車	令和８年３月の国内二輪車生産台数は、51,559台（前年同月比14.4％減）で、前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、2,473台（同 78.6％減）で、前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,611台（同 99.5％増）で、前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、4,694台（同192.6％増）で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、40,781台（同9.9％減）で、前年実績を下回った。 出荷台数は、国内向けは、28,882台（同15.6％減）で、前年実績を下回った。輸出向けは、45,906台（同4.4％減）で、前年実績を下回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
自 動 車	令和８年３月の自動車国内生産台数は、788,528台（前年同月比 8.9％増）と、２か月連続で前年実績を上回った。輸出は358,584台（同 0.3％減）と、２か月ぶりに前年実績を下回った。 国内生産は、乗用車が７か月ぶり、トラックが７か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも２か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本自動車工業会
電気機械	４月の冷蔵庫の国内出荷額は314億円（前年同月比0.2％増）で、２か月ぶりに前年実績を上回った。国内出荷台数は290千台（同4.3％増）で、８か月連続で前年実績を上回った。 ４月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,029千台（同29.5％増）で、８か月連続で前年実績を上回った。業務用は70千台（同14.8％増）で、４か月ぶりに前年実績を上回った。 ４月の携帯電話の国内出荷台数は、180千台（同17.4％減）で、２か月連続で前年度実績を下回った。うち、スマートフォンは、140千台（同16.8％減）で、６か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 77.6％であった。 ＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J
生産用機械	４月の工作機械の受注総額は、1,889億6,700万円（前年同月比45.1％増）で、10か月連続で前年実績を上回った。 内訳をみると、外需は1,396億8,100万円（同45.8％増）で、19か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが762億6,900万円（同58.1％増）で、８か月連続で前年実績を上回った。内需は492億8,600万円（同43.4％増）で、４か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞日本工作機械工業会

業 種	産 業 動 向
楽 器	4月の県内楽器メーカーの販売金額は、55億4,504万円（前年同月比3.2%減）で、4か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億7,181万円（同7.5%減）、国内向けが24億7,324万円（同2.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。 ピアノ生産台数は2,151台（同0.8%増）で、3か月連続で前年実績を上回った。機種別では、アップライトピアノが1,257台（同7.0%増）、グランドピアノが894台（同6.8%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,233台（同19.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内向けが806台（同8.6%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。 ＜資料＞静岡県楽器製造協会
紙	4月の紙・板紙の国内出荷高は、1,690千トン（前年同月比 1.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は726千トン（同 5.5%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。板紙は964千トン（同2.0%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。 品種別では、主力の印刷・情報用紙が、354千トン（同 8.5%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、167千トン（同1.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。 ＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」
缶詰・飲料	4月の県内生産量は、食缶類（国内向け）が1,029千箱（前年同月比6.6%増）で2か月連続で前年実績を上回った。 分類別でみると、水産缶（国内向け）が815千箱（同14.3%増）で2か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶は548千箱（同17.6%増）で、5か月連続で前年実績を上回った。 農畜産缶（国内向け）は214千箱（同15.0%減）で2か月ぶりに前年実績を下回った。 飲料缶類（国内向け）は、7,418千箱（同13.8%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。 ＜資料＞静岡缶詰協会
織 維	4月の広幅織物の県内生産は、682千㎡（前年同月比 11.6%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、646千㎡（同10.1%減）で、18か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、36千㎡（同32.0%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。 小幅織物の県内生産は、15千㎡（同10.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合
家 具	4月の全国百貨店での家具販売額は、33億6,150万円（前年同月比8.0%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、614億8,350万円（同7.9%減）と8ヶ月連続で前年実績を下回った。 ＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

業 種	産 業 動 向
小 売 業	4月の県内百貨店・スーパーの販売額は、44,703百万円（既存店前年同月比1.1%増）と前年同月の実績を上回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、家庭用品及び食堂・喫茶で前年同月の実績を下回ったが、飲食料品及びその他の商品の売上げが前年同月と比較して増加した。 西部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して来客数は増加したが、売上げは同程度であった。新規催事の来客が多かった。雑貨（時計・貴金属等）の売上げが好調だった一方で、衣料品及び家庭用品の売上げが不調だった。 中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。要因として映画や催事への来客が多かったことが考えられる。 東部の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。精肉・鮮魚など生鮮関係が伸びていることが主な要因。併せて、冷凍食品も好調だった。 ＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課
観 光	令和8年3月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約50万人で、前年同月比9.2%増となった。 増加の要因は、集客力のあるイベントが多く実施されたことや、晴天となった週末が多かったことである。 主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約66万台となり、前年同月比0.6%増となった。 ＜資料＞ 静岡県観光政策課

＜原油高の状況について＞

中東情勢の不安定化（令和8年2月末～）により、原油価格が高騰した。これにより、レギュラーガソリンの県内小売価格は、令和8年3月16日に192.2円/Lとなった。令和8年3月19日出荷分から実施された「イラン情勢を踏まえた緊急的激変緩和措置」により、足もとの県内ガソリン小売価格は、170.8円/Lに推移している。



出典：石油情報センター、農林水産省、一般社団法人漁業経営安定化推進協会

Ⅳ データからみた県内主要産業

<二輪車>

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	17,383	22,850	25,794	26,857	26,953	27,483	22,857	22,292	22,051
前年同月比(%)	▲ 11.5	▲ 2.8	▲ 6.5	▲ 8.0	34.7	22.8	▲ 7.1	▲ 12.8	▲ 4.0
KD輸出額(百万円)	1,164	1,693	1,596	1,973	2,152	2,257	2,581	2,588	2,139
前年同月比(%)	62.2	180.3	117.9	193.6	22.1	▲ 2.3	8.6	10.5	▲ 6.0

<楽 器>

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	2,780	3,530	3,768	3,011	3,258	3,622	3,496	4,097	4,146
前年同月比(%)	6.1	19.3	10.7	▲ 2.6	14.3	33.0	27.2	41.5	11.0

<缶 詰>

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千箱)	842	967	1,007	925	936	912	860	964	1,029
前年同月比(%)	▲ 3.1	0.2	▲ 4.7	▲ 10.3	▲ 3.3	▲ 0.3	▲ 1.9	7.6	6.6
うち水産缶詰(%)	▲ 4.4	1.1	▲ 0.4	▲ 6.5	2.2	3.3	▲ 0.2	5.6	14.3
農畜産缶詰(%)	1.1	▲ 2.7	▲ 16.5	▲ 20.8	▲ 17.7	▲ 11.3	▲ 6.5	14.3	▲ 15.0
飲料缶生産高(千箱)	7,368	6,504	7,735	6,857	6,365	5,581	5,611	7,948	7,415
前年同月比(%)	4.3	0.9	13.7	0.3	8.6	17.9	2.3	17.3	13.8

<織 維>

	R 7年8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	582	678	816	951	808	787	707	718	682
前年同月比(%)	▲ 5.5	▲ 16.9	▲ 8.5	▲ 2.5	▲ 9.7	▲ 10.7	▲ 15.8	▲ 16.5	▲ 11.6
小幅織物(千㎡)	15	16	15	15	18	15	15	16	15
前年同月比(%)	▲ 11.1	▲ 2.3	▲ 5.5	▲ 7.8	▲ 11.1	1.4	▲ 3.1	▲ 3.3	▲ 10.7

<観 光>

	R 7年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R 8年1月	2月	3月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,893	2,502	1,712	1,877	2,011	1,933	1,575	1,610	2,078
前年同月比(%)	▲ 7.9	▲ 3.1	▲ 5.4	▲ 0.6	▲ 1.1	▲ 4.0	▲ 3.8	▲ 1.7	2.9
観光施設(10施設)入込 (千人)	301	444	309	450	560	395	378	309	502
前年同月比(%)	1.5	14.0	▲ 0.8	8.6	39.6	22.8	22.8	3.6	9.2
有料道路(4路線)通行 量 (千台)	632	729	588	594	663	635	569	572	662
前年同月比(%)	0.9	6.1	0.8	▲ 2.7	5.6	0.7	0.4	4.6	0.6

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去 10 年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<https://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・ 大型小売店販売額	・ 鉱工業生産指数	・ 有効求人倍率	・ 国内企業物価指数
・ 専門量販店等販売額	・ 鉱工業在庫指数	・ 雇用保険受給者実人員	・ 県内金融機関貸出残高
・ 自動車新規登録台数		・ 完全失業率	・ 信用保証協会保証金額
・ 新設住宅着工戸数		・ 所定外労働時間指数	・ 企業倒産件数
・ 清水税関支所管内輸出額			
・ 清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	https://www.ejcs.co.jp/report/public-works/prefecture/
設備投資	日本銀行静岡支店	https://www3.boj.or.jp/shizuoka/index.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	https://www.boj.or.jp/statistics/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資 料 名	提 供 元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	https://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	https://www.mof.go.jp/statistics/
国際収支		
機械受注	内閣府	https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/toukei/
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告

令和8年6月号 通巻602号

発 行 静岡県経済産業部
令和8年6月

編 集 経済産業部政策管理局産業政策課

〒420-8601

静岡市葵区追手町9-6

TEL 054-221-2635

FAX 054-221-3217

E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/1041026/1025441.html>